

メリアス編みのがまぐち

シンプルなメリアス編みのオリジナルがまぐちです。どんな糸でも大丈夫のように、ゲージを取らなくてすむように、目数や段数ではなく寸法だけで編んでみました。



材料

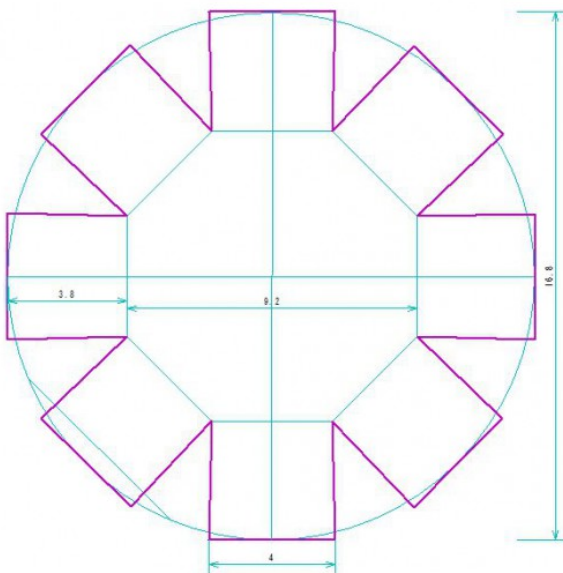
糸: Peonia(並太程度) 1/2 玉程度
針: 6号輪針 2本(クンスト針でもよい)
口がね: 8.5cm(穴あきタイプ)
裏地: 21cm 角程度
とじ糸: 口金と本体をとじるので丈夫な糸

製図

製図をしました。8枚はぎなので、八角形です。

赤色線は増減なし部分。

裏布用は実寸の製図が必要なので別ファイル(PDF)にしました。



がまぐちを編む

- かぎ針で輪を作り(あとで絞れる輪)、8目を編みつけます。
輪の中に、かぎ針で「チェーンペトウール」(未完成細編みを編み、その上に続けて鎖1目を編む)を8目、針からはずさずに編みます。※チェーンペトウールが分からない場合は、普通に8目を輪に編んで後からとじ針でとじてもよいと思います。
- かぎ針から、目を輪針2本(クンスト針)に移し、輪を絞ります。※針には8目がかかっている状態
- 2段目は全目の増し目です。(16目になる)
※8分割の境目にリングを入れておきます。
- 以降は **2段毎**に増し目をします。リングの次増し目です。(1段に8目)
これを指定寸法(9.2cm程度)になるまで、グルグルと編みます。
- 輪が終わったら、増減なしに、3.8cmを編みます。
- 全部編み終わったら伏せ目をします。
- 最後に細編み1段を編みます(全目を拾う)

裏地を付ける



裏地を外側の円にカットします。印に沿ってダーツを縫います。本体に縫い付けます。本体を4分割し印をつけておくのと縫いやすい。

※8か所にダーツがあるので、ダーツ部分と印部分を合わせてまつる(細編みの下あたり)

[裏地用の製図はコチラです](#)

口金を付ける

1. 丈夫な糸(私の場合は釣り糸)で、半返しで本体と縫い付けます。(細編みの下あたり)糸や目数にもよりますが、この糸の場合は、端から3目めから縫い始めました。
2. 口金の中心と編み地の中心は合わせます。
3. 縫い終わったら、目打ちで縫ったところを一目ずつひっぱります。こうすれば縫うときにゆるゆる縫っても大丈夫です。丈夫な糸を使うのはこのためです。弱い糸だとひっぱるときに切れてしまいます。

